

岡本眸の春の句

道端に遊びし記憶春の暮
鳥雲に好みて古りし布靴
紺着ればいまも青春桜草
海棠や旅の日暮はゆつくりと
春の暮列柱に身を紛らしむ

松岡隆子 抽